

青木繁関連記事目次 (1957年—1980年)

後藤純子

凡例

- 1) 本目次は、昭和32年から石橋美術館において作成し所蔵している新聞切り抜き帳の中から青木繁に関する記事を選択し、昭和32年1月から昭和55年12月までの期間に限って一覧表としたものである。なお、石橋美術館所蔵の新聞切り抜き帳における新聞記事の収集状況と整理法、ならびに坂本繁二郎関連記事目次については『館報』第42号～第44号で報告してきた¹⁾。
- 2) 収録紙は当初『朝日新聞』、『毎日新聞』、『西日本新聞』、『フクニチ新聞』の4紙で、昭和40年1月から『読売新聞』、昭和59年4月から『日本経済新聞』が加わり、平成4年4月以降『フクニチ新聞』が休刊となり、現在5紙を購読している。
- 3) 石橋美術館の新聞切り抜き帳は、この時期、新聞紙名・日付のみを採取した記事に記載していたので、本目次には朝・夕刊の別、地方版などに関するデータをいれることができなかった。
- 4) 本目次の記載については以下のとおりとした。
 - ① 記事の順序は発行年月日順とし、同じ日付の場合は新聞紙名の5音順とした。
 - ② 「切抜帳」の項目は切り抜き帳の年次と分冊数次を表したものである。切り抜き記事は、この時期、内容分類に従い数冊に分けて製本されているため、日付順に配列すると分冊数次が前後する場合もある。
 - ③ 「執筆者」の項目は記事中の表記に従ったが、(談)などの記載を補ったものもある。
 - ④ 「見出し」の記載については原則として記事の表記に従い、大見出し、小見出しの順に記載したが、

- 「見出し」を読むだけでおおよその内容を把握できることを配慮し、順序を変えて記載したものもある。また、見出しが多数ある場合など、いくつかの見出しを省略したものもある。コラム記事に関してはコラム名を()で表した。連載記事は連載番号を()に記した。
- ⑤ コラム名や見出しだけでは内容がまったく不明と思われる記事には、本文の一部を引用したものもある。また、見出しのうしろに(行事案内)〈番組紹介〉など記事にはない記載を補ったものもある。
 - ⑥ 記事の見出しの中には明らかに誤植と思われるものがあったが、記事の表記どおりに記載した。また、切り抜き記事に記載された新聞紙名や日付の中にも誤りと思われるものもあったが、これも切り抜き帳の記載どおりとした。また、連載記事の中には連載番号よりみて採取漏れとみられる記事もあるが、これを原紙や他の資料等によって補うことはしなかった。
- (ごとうじゅんこ 石橋美術館)

註

- 1) 後藤純子、植野健造「石橋美術館所蔵新聞切り抜き帳について 附：坂本繁二郎関連記事目次(1957年—1969年)」『プリヂストン美術館 石橋美術館 館報』第42号、平成6年10月
後藤純子、植野健造「坂本繁二郎関連記事目次(1970年—1980年)」『プリヂストン美術館 石橋美術館 館報』第43号、平成7年12月
後藤純子、植野健造「坂本繁二郎関連記事目次(1981年—1990年)」『プリヂストン美術館 石橋美術館 館報』第44号、平成8年11月

青木繁関連記事目次 (1957年—1980年)

新聞紙名	発行年月日	切抜帳	執筆者	見出し
1	1957年	1957-2		青木繁素描展
2	朝日 1957年04月01日	1957-1		青木画伯をしのぶ 盛大に“けしけし祭”
3	毎日 1957年06月26日	1957-1		いしぶみの旅 (2) 青木繁の碑 思い出のケシケシ山 “天才画家”の歌ぎざむ
4	西日本 1957年06月27日	1957-1	平	らくがき文化地理 九州山口 (27) 筑後
5	毎日 1957年08月31日	1957-3	坂本繁二郎 (談)	わが十代の思い出 (26) 夢中でつづけた絵
6	朝日 1957年09月10日	1957-1		青木繁の画集決定版を作る
7	西日本 1957年10月03日	1957-1		青木繁画伯の画集発行
8	毎日 1957年10月05日	1957-1		青木繁画集の決定版を 友人の坂本画伯らが編集着手

9	西日本	1957年10月24日	1957-2		示現会 話題の二婦人の作品 野尻たね子さんと石橋フクさん
10	朝日	1957年11月05日	1957-1		〈文化横丁〉 青木繁の偽画
11	毎日	1957年11月29日	1957-3	杉本寿恵男	〈筑後往来〉 出したい青木繁の伝記
12	西日本	1958年03月27日	1958-1		30日に青木画伯追悼けしけし祭
13	朝日	1958年08月03日	1958-3	池上丁一	〈文化横町〉 「晩帰」と青木繁
14	朝日	1958年11月19日	1958-2	谷口鉄雄	〈学芸〉 福岡ユネスコ協会設立10周年記念 『近代美術展』をみて
15	西日本	1959年02月21日	1959-1		筑後平野 その(40) 郷土の先輩 上にじむ郷土の人情と風土 偉大な三人の画家 坂本繁二郎, 青木繁に古賀春江
16	西日本	1959年03月16日	1959-3	増田洋	〈筑後文化〉 けしけし祭によせて
17	フクニチ	1959年03月20日	1959-1		29日に久留米のけしけし祭
18	朝日	1959年03月30日	1959-1		〈青鉛筆〉 久留米が生んだ明治画壇の鬼才青木繁をしのぶ第6回「けしけし祭」が29日久留米市山本町柳坂公民館で行われた。…
19	毎日	1959年04月01日	1959-1	福田蘭童, 豊田勝秋 (対談)	父・青木繁の思い出 オンブして描く 好んでひいたアコーディオン
20	西日本	1959年04月27日	1959-1		文学碑をたずねて 郷愁をうたった画壇の奇才・青木繁
21	朝日	1959年06月03日	1959-2		日本洋画代表作家展
22	西日本	1959年06月03日	1959-2	兵	〈画廊〉 日本洋画代表作家展
23	毎日	1959年06月04日	1959-2	男	質的には高い 地方巡回に良心さざし 二つの画展を見て
24	朝日	1959年07月25日	1959-3	裾分一弘	絵画にみる永遠の女性像 福田たね 青木繁
25	毎日	1959年08月21日	1959-2	男	日本近代洋画の流れ 上 明治 写真主義と外光主義
26	朝日	1959年08月23日	1959-2	兵	重点的な選択40点 「日本近代洋画の流れ」展
27	西日本	1959年10月14日	1959-2		第二回近代美術展 未公開作品も展覧 目をひくルオー, プラマンク
28	西日本	1959年10月14日	1959-3	竹藤寛	「裏方の記」
29	フクニチ	1959年10月16日	1959-2		ユネスコ第二回近代美術展 〈告示〉
30	朝日	1959年10月19日	1959-2	玉	庄卷二点 プラマンクとルオーの作品 第二回「近代美術展」
31	フクニチ	1959年10月28日	1959-3	中村キクヨ (談)	とっておきの話 (7) 私の二階で完成した「晩帰」 明治画壇の鬼才・青木氏の制作苦悩時代
32	毎日	1959年11月16日	1959-1		明善校 (22) 卒業生たち 画家 幾多の人材育てる 受け入れぬ?校風 次々に出た中退組
33	朝日	1960年03月13日	1960-1		〈話の小箱〉 福田蘭童も出席 27日「けしけし祭」
34	毎日	1960年03月15日	1960-1		来る27日「けしけし祭」 蘭童が尺八でたむけの曲
35	フクニチ	1960年03月18日	1960-1		27日に「けしけし祭」 洋画家青木繁をしのび 出身地の久留米で
36	毎日	1960年03月27日	1960-1	増田洋	「けしけし祭り」に寄せて 青木繁の自画像のことなど

37	フクニチ	1960年03月28日	1960-1		カッポ酒で故青木氏しのぶ 久留米 けしけし祭りにぎわう
38	フクニチ	1960年03月30日	1960-3	豊田勝秋(談)	〈フクニチ伝言板〉 久留米が生んだ天才画家青木繁のことは50年忌, …
39	朝日	1960年04月11日	1960-1		一枚の絵を音で表現 詩人や作家も協力 文化放送が野心的ドラマ 青木繁『海の幸』モデルに
40	朝日	1960年04月29日	1960-3		洗礼を受けた青木繁 親友にあてた手紙でわかる
41	毎日	1960年04月29日	1960-1		〈かつぱ〉 洗礼を受けた青木繁
42	毎日	1960年07月07日	1960-1		青木繁「海の幸」 一枚の絵をドラマに 28日RKB毎日で放送
43	フクニチ	1960年11月07日	1960-2		明治・大正・昭和 秀作美術展 新春早々、福岡市で開幕 〈社告〉
44	西日本	1960年11月16日	1960-2		福岡県内所蔵近代美術展 二十三日から福岡市丸善画廊で
45	朝日	1960年11月20日	1960-2		23日から近代美術展
46	西日本	1960年11月30日	1960-2	岸田勉	貴重な青木繁の資料 第三回福岡県内所蔵近代美術展をみて
47	フクニチ	1961年01月01日	1961-2		秀作美術展 “近代美術の粋”一堂に 〈社告〉
48	フクニチ	1961年01月15日	1961-2		ズラリ みごとな90点 17日から「明治大正昭和秀作美術展」
49	朝日	1961年01月19日	1961-2	玉	時代的足どりの興味 明治・大正・昭和秀作美術展だが統一のない展観
50	西日本	1961年02月08日	1961-1		〈告知版〉 久留米 有馬記念館(篠山城跡)は二階の郷土資料室で久留米出身の三人の洋画家坂本繁二郎、故古賀春江、青木繁の初期の作品…
51	西日本	1961年02月10日	1961-3	野田宇太郎	九州の知性 (5) 青木繁 印象派の代表画家 生命感の躍動するその絵
52	毎日	1961年03月14日	1961-1		〈短信〉 けしけし祭 〈行事案内〉
53	朝日	1961年03月15日	1961-1		今年にもぎやかな顔ぶれで 春分の日 けしけし祭り
54	フクニチ	1961年03月22日	1961-1		鼓笛隊や合唱などで故人しのぶ 久留米、けしけし祭り
55	毎日	1961年03月22日	1961-1		天才画家青木繁をしのぶ 久留米でけしけし祭
56	西日本	1961年03月25日	1961-1		祭典や記念講演 久留米のけしけし祭
57	毎日	1961年05月09日	1961-3	山上高寛	〈火曜文芸〉 筑後の風土と芸術
58	朝日	1961年09月17日	1961-2		〈文化短信〉 青木繁展 〈告示〉
59	朝日	1961年09月19日	1961-1		美術座談会 …「没後五十年青木繁展」の記念に催すもので、テーマは「青木繁の芸術とその今日的意義」… 〈告示〉
60	西日本	1961年09月19日	1961-3	河北倫明	青木繁の世界 天才の画業さぐる
61		1961年	1961-2		没後50年「青木繁展」
62	朝日	1961年09月20日	1961-2		没後五十年青木繁展 博多で開く
63	西日本	1961年09月26日	1961-3		〈風車〉 『青木繁展』の意義
64	毎日	1961年10月14日	1961-3	谷口鉄雄	青木繁 その知られざる画業

65	フクニチ	1961年10月19日	1961-1		ふるさと今昔 (11) 名画「晩婦」 清力(大川)滞在中に完成 明治の画家青木繁 放浪の死とげた不運の天才
66	西日本	1961年10月21日	1961-1		美術の秋をさらう知られざる画業 東京で人気呼ぶ青木繁展
67	西日本	1961年10月30日	1961-3	福田蘭童	父はしあわせ者だった ー東京の青木繁展をみてー
68	西日本	1961年10月31日	1961-1		「天才画家・青木繁」をドラマ化
69	西日本	1961年11月04日	1961-1		郷土の三大芸術家を讃う 青木繁 坂本繁二郎
70	西日本	1961年12月31日	1961-3	き	〈美術〉 意義深い『青木繁展』
71	毎日	1962年03月07日	1962-1		世界名画全集・続巻4 黒田清輝・青木繁 〈図書案内〉
72	西日本	1962年03月18日	1962-1		25日にケシケシ祭り
73	毎日	1962年03月18日	1962-1		天才画家青木繁をしのぶ けしけし祭近づく 久留米 遺作特別展も開催中
74	西日本	1962年03月19日	1962-1		新作能“はぜ”の発表会 謡曲は井上画伯作 画家の出会いをモチーフに
75	毎日	1962年03月20日	1962-1		坂本, 青木両画伯モチーフに 八女 新作謡曲“はぜ”発表会
76	西日本	1962年03月25日	1962-3	豊田勝秋	第九回「けしけし祭」を迎えて
77	朝日	1962年03月26日	1962-1		詩歌や三曲など献上 久留米で 青木繁をしのぶ“けしけし祭り”
78	毎日	1962年03月26日	1962-1		青木繁しのぶ 久留米で“けしけし祭り”
79	朝日	1962年03月28日	1962-3	六分儀	〈季節風〉 青木繁の書簡
80	フクニチ	1962年03月30日	1962-3		波乱の人たち (1) 青木繁 (1) 房州の海にたぎる“血” 運命の女「たね」伴って取材旅行
81	フクニチ	1962年03月31日	1962-3		波乱の人たち (2) 青木繁 (2) 画も人生も情熱だ! 可能性秘めた「たね」に心奪わる
82	フクニチ	1962年04月01日	1962-3		波乱の人たち (3) 青木繁 (3) 青春をこの一夜に 情熱をこめ彼女に描く海の構図
83	フクニチ	1962年04月03日	1962-3		波乱の人たち (4) 青木繁 (4) 狂気のように浜辺へ その翌朝 荒々しい漁民の姿に感動
84	フクニチ	1962年04月05日	1962-3		波乱の人たち (5) 青木繁 (5) 群像の中に“二つの顔” 力作「海の幸」仕上げ, 得意の帰京
85	フクニチ	1962年04月06日	1962-3		波乱の人たち (6) 青木繁 (6) ヤリを突き出す父親 硬骨一家 厳格なシツケに育つ
86	フクニチ	1962年04月07日	1962-3		波乱の人たち (7) 青木繁 (7) “自己流”ほんぼうな画 過剰な自信 異色の森三美門下生
87	フクニチ	1962年04月08日	1962-3		波乱の人たち (8) 青木繁 (8) 落第きっかけに上京 画家を志し, 負けじ魂秘めて
88	フクニチ	1962年04月09日	1962-3		波乱の人たち (9) 青木繁 (9) 国粹主義の“アラシ” 50人で始まった“官立美校”廃止
89	フクニチ	1962年04月10日	1962-3		波乱の人たち (10) 青木繁 (10) 新風吹き込んだ黒田 わが国初の洋画グループ台頭
90	フクニチ	1962年04月11日	1962-3		波乱の人たち (11) 青木繁 (11) 黒田の講義にソッポ 異常な自負心 小山塾の特異な存在

91	フクニチ	1962年04月12日	1962-3		波乱の人たち (12) 青木繁 (12) 内心では黒田に敬服 古書, 宗教の勉強へ図書館へ日参
92	フクニチ	1962年04月13日	1962-3		波乱の人たち (13) 青木繁 (13) 貧乏暮らしにも平気 絵具買えず同僚から無断失敬
93	フクニチ	1962年04月14日	1962-3		波乱の人たち (14) 青木繁 (14) 空前の名文“雨の描写” 久留米の三羽ガラス, 信州へ写生旅行
94	フクニチ	1962年04月15日	1962-3		波乱の人たち (15) 青木繁 (15) 藤村と初めて対面 妙義山から信州へスケッチ旅行
95	フクニチ	1962年04月17日	1962-3		波乱の人たち (16) 青木繁 (16) フトンもない年越し 梅野に頼み下宿屋から持ち出す
96	フクニチ	1962年04月19日	1962-3		波乱の人たち (18) 青木繁 (18) 自信に満つ自画像 上を向いて 生活苦と闘う
97	フクニチ	1962年04月20日	1962-3		波乱の人たち (19) 青木繁 (19) みごと初の白馬賞に 耳目を集めた新人・繁の空想画
98	フクニチ	1962年04月21日	1962-3		波乱の人たち (20) 青木繁 (20) にぎわう曙町の下宿 恋人と友を得て繁の生活に活気
99	フクニチ	1962年04月22日	1962-3		波乱の人たち (21) 青木繁 (21) 「たね」にいつしか恋心 写生の疲れ忘れ“梁山泊”の酒宴
100	フクニチ	1962年04月24日	1962-3		波乱の人たち (22) 青木繁 (22) 世は“旅順攻防”の夏 問題の大作「海の幸」白馬会展へ
101	フクニチ	1962年04月25日	1962-3		波乱の人たち (23) 青木繁 (23) “海の幸”画壇を圧倒 すさまじい興奮と感銘よぶ
102	フクニチ	1962年04月26日	1962-3		波乱の人たち (24) 青木繁 (24) 赤貧の家に“客”ふたり 親身に家を捜し回る坂本
103	フクニチ	1962年04月27日	1962-3		波乱の人たち (25) 青木繁 (25) “おれは如来…お前らは羅漢” 繁の人柄に魅せられる有明
104	フクニチ	1962年04月28日	1962-3		波乱の人たち (26) 青木繁 (26) 相会した“二人の天才” 気心通じる詩と絵の「神話論」
105	フクニチ	1962年04月29日	1962-3		波乱の人たち (27) 青木繁 (27) “心肝照らし進もう” 有明にだけは限りない親近の情
106	フクニチ	1962年05月01日	1962-3		波乱の人たち (28) 青木繁 (28) 「画稿集」日の目みず 出版元とつぎつぎケンカ
107	フクニチ	1962年05月02日	1962-3		波乱の人たち (29) 青木繁 (29) まるで女主人のよう “たね”の態度に腹を立てる姉
108	フクニチ	1962年05月03日	1962-3		波乱の人たち (30) 青木繁 (30) “しがらみ”に狂う連夜 窓に, 芸術に刻まれる肉体
109	フクニチ	1962年05月04日	1962-3		波乱の人たち (31) 青木繁 (31) “海の幸”売却を決意 借金取りに脱け出す大ミソカ
110	フクニチ	1962年05月06日	1962-3		波乱の人たち (32) 青木繁 (32) “最後の友” 坂本も去る 絶望の二人, 思い出の房州へ逃避
111	フクニチ	1962年05月09日	1962-3		波乱の人たち (34) 青木繁 (34) 「たね」残し 久々の帰郷 家族の世話を訴える病床の父
112	フクニチ	1962年05月10日	1962-3		波乱の人たち (35) 青木繁 (35) 白馬会に激しい憤り 送った「女の顔」が鑑査ではねられる
113	フクニチ	1962年05月11日	1962-3		波乱の人たち (36) 青木繁 (36) みつからぬ教師の口 やつと百円の画稿料入って大喜び

114	フクニチ	1962年05月12日	1962-3		波乱の人たち (37) 青木繁 (37) すべてを賭けた一作 “わだつみのいるこの宮”に熱意
115	フクニチ	1962年05月13日	1962-3		波乱の人たち (38) 青木繁 (38) 漱石までもベタほめ “寵児”へ…自信の高値二千五百円
116	フクニチ	1962年05月16日	1962-3		波乱の人たち (40) 青木繁 (40) “たね”との仲も限界に 渡仏の決意に“チチキトク”の報
117	フクニチ	1962年05月17日	1962-3		波乱の人たち (41) 青木繁 (41) 橋の上で終生の別れ 郷里に待っていたのは“父の死”
118	フクニチ	1962年05月18日	1962-3		波乱の人たち (42) 青木繁 (42) 紅灯の巷に入り浸り 無軌道の生活さます油絵の依頼
119	フクニチ	1962年05月19日	1962-3		波乱の人たち (43) 青木繁 (43) 大広間飾る “漁夫晩婦” 謝礼金を手に燃やす上京の熱情
120	フクニチ	1962年05月20日	1962-3		波乱の人たち (44) 青木繁 (44) ついに放浪の旅へ 一家からも見放され安宿を転々
121	フクニチ	1962年05月22日	1962-3		波乱の人たち (45) 青木繁 (45) 繁かばう花屋の女将 ぼったり帰京の坂本と遭遇
122	フクニチ	1962年05月23日	1962-3		波乱の人たち (46) 青木繁 (46) 坂本と生涯の別れ 花屋のユカ着たまま佐賀へ
123	フクニチ	1962年05月25日	1962-3		波乱の人たち (48) 青木繁 (48) 病状ようやく表に 唐津, 古湯で静養 次々と秀作
124	フクニチ	1962年05月26日	1962-3		波乱の人たち (49) 青木繁 (49) カッ血でついに入院 一人寂しく四十四年の正月迎える
125	フクニチ	1962年05月27日	1962-3		波乱の人たち (50) 青木繁 (50) 手を空に「愛」の一字 28年の生涯, 福岡の一隅で閉ず
126	西日本	1962年07月07日	1962-1		歌誌高嶺9月号発刊 …杉森麟『坂本繁二郎画談49』で青木繁が語られている。… (雑誌紹介)
127	フクニチ	1962年08月01日	1962-1		〈書評〉 日本近代絵画全集 「青木繁」
128	朝日	1962年08月19日	1962-3	境忠	〈文化横丁〉 清力美術館
129	朝日	1962年09月18日	1962-3	坂本繁二郎	思い出すまゝに (2) 青木繁君
130	フクニチ	1962年09月28日	1962-1		芸術の秋でにぎわう 大川の清力美術館 青木繁作品など展示
131	西日本	1962年10月27日	1962-1		青木繁の絶筆みつかる 佐賀の古道具屋で 坂本繁二郎画伯が鑑定
132	西日本	1962年12月12日	1962-1		〈みものきぎもの〉 悲劇の天才青木繁にスポット 遺児の蘭童氏も登場 福岡放送局制作 教養特集『美術散歩』
133	フクニチ	1962年12月12日	1962-1		悲劇の天才・青木繁 教育特集「美術散歩」〈番組紹介〉
134	西日本	1962年12月16日	1962-3	丸山豊	郷土が生んだ文化を開いた人びと (6) 青木繁 心のこもった絵かく 生前は認められなかった天才
135	フクニチ	1963年01月12日	1963-1		よきライバル 石橋美術館 八幡美術工芸館 相つぐ名企画展 郷土芸術に大きく貢献
136	毎日	1963年02月06日	1963-2		大阪で“藤山コレクション展”
137	フクニチ	1963年02月09日	1963-1		郷土作家の作品展示 久留米 街の愛好者が個人美術館

138	朝日	1963年03月03日	1963-1		「名画家出よ」と美術館 久留米 町の社長さん奮発 無料開放、個展の場にも
139	毎日	1963年03月12日	1963-1		二十一日から開館 久留米の緒方コレクション
140	朝日	1963年03月22日	1963-1		現れよ!名画家
141	西日本	1963年03月22日	1963-4	二宮冬鳥	郷土画家の傑作を多数 緒方コレクション
142	フクニチ	1963年03月22日	1963-1		郷土の青木繁らの作品展示 久留米 緒方さんの個人美術館開く
143	フクニチ	1963年03月22日	1963-1		24日、久留米で「けしけしまつり」 故青木画伯をしのぶ
144	日日	1963年03月23日	1963-1		けしけし祭 24日歌碑前の山頂で
145	朝日	1963年03月24日	1963-3	保坂英雄	けしけし祭あれこれ
146	西日本	1963年03月24日	1963-1		きょうけしけし祭
147	毎日	1963年07月22日	1963-1		洋画展に青木繁絶筆
148	朝日	1963年10月02日	1963-4		続・新・人国記 福岡 (2) じゅうげもん
149	朝日	1963年10月04日	1963-3		続・新・人国記 福岡 (4) ケシケシ祭
150	西日本	1963年12月05日	1963-4	多々羅義雄	青木繁のこと (上)
151	西日本	1963年12月06日	1963-4	多々羅義雄	青木繁のこと (下)
152	朝日	1964年02月14日	1964-1		青木繁の絵二つ 晩年のもの 福岡でみつかる
153	朝日	1964年03月01日	1964-2		青木繁のこと 「秋声」を描いたころ 失意が訪れようとは… モデルの三上さん“気むずかしい人”
154	毎日	1964年03月25日	1964-1		29日、けしけし祭り 青木繁画伯の遺業しのぶ
155	朝日	1964年03月30日	1964-1		花束や歌ささげる 青木繁画伯しのぶ けしけし祭
156	フクニチ	1964年03月30日	1964-1		〈街灯〉 天才画家しのぶ!
157	毎日	1964年03月30日	1964-1		“放浪の天才画伯”しのぶ 久留米で“けしけし祭り”
158	毎日	1964年05月01日	1964-1		〈記者の目〉 自画像の因縁話
159	朝日	1964年08月30日	1964-2		新・人国記 (681) 栃木県 (11) いろこのみや
160	西日本	1964年10月19日	1964-4		“天才と俗事”の闘争 『青木繁』 悲劇の生涯と芸術 河北倫明著 〈書評〉
161	フクニチ	1964年11月11日	1964-2		いしぶみの周辺 青木繁(久留米) 自我つらぬいた 鬼才 見おろす“はぜ多き国”
162	毎日	1964年11月25日	1964-4	山上高寛	〈読書〉 “明治ロマン”の旗手 悲劇画家の生涯と芸術 河北倫明著「青木繁」 〈書評〉
163	毎日	1965年02月23日	1965-3		〈画廊〉 新取品の名作を展示 東京国立博物館で
164	毎日	1965年03月24日	1965-2		けしけしまつり 久留米で28日 青木繁の偉業をしのぶ
165	朝日	1965年03月27日	1965-1		12回目のけしけし祭り 28日久留米で 故青木繁をしのぶ
166	西日本	1965年03月27日	1965-1		あす、けしけし祭り 天才画家、青木繁しので
167	フクニチ	1965年03月27日	1965-1		青木画伯しのび「けしけし祭り」 あす久留米で
168	朝日	1965年03月29日	1965-1		歌碑に“カッポ酒” 青木繁しのぶ「けしけし祭り」 久留米
169	西日本	1965年03月29日	1965-1		青木繁碑囲みしのぶ 久留米 盛大にけしけし祭り
170	フクニチ	1965年03月29日	1965-1		故青木繁しのぶ 久留米で「けしけし祭」

171	毎日	1965年03月29日	1965-1		〈雑記帳〉 久留米が生んだ明治洋画壇の鬼才、青木繁が世を去って五十五年、その画業をしのぶ第十三回“けしけし祭り”が…
172	西日本	1965年04月02日	1965-4		「近代美術の流れ」 日本の美術 24 河北倫明著 〈書評〉
173	朝日	1965年04月03日	1965-1		ろーかる人物誌 (17) 清力美術館の中村次太郎さん
174	朝日	1965年04月20日	1965-3		珍しい師弟展に… 森三美の遺業展
175	朝日	1965年04月29日	1965-3	坂本繁二郎	〈文化〉 恩師・森先生のこと 森三美遺業展によせて
176	西日本	1965年04月30日	1965-3		〈短信〉 森三美遺業展
177	朝日	1965年05月01日	1965-3		〈素描〉 日本洋画の巨匠、坂本繁二郎と青木繁に洋画の手ほどきをした森三美(もり・みよし)の遺業展が…
178	フクニチ	1965年06月07日	1965-2	北川記者	有明海 (62) 有明叙情 (4) 青春への回帰 多くの詩人はぐぐむ 失意の青木繁なぐさめた筑後川
179	読売	1965年11月16日	1965-3		注目の作品ずらり 「大原コレクション、近代日本の洋画名作展」 青木繁の「男の顔」など55点
180		1965年	1965-4		〈ぶつくす〉 『近代洋画の青春像』原田実著 〈書評〉
181	毎日	1965年12月08日	1965-4		河北倫明著 青木繁と坂本繁二郎 〈書評〉
182	毎日	1966年02月02日	1966-4		石橋美術館コレクションから わだつみのいろこの宮
183	朝日	1966年02月13日	1966-4		青木繁著『仮象の創造』 〈書評〉
184	朝日	1966年03月24日	1966-1		けしけし祭 〈行事案内〉
185	西日本	1966年03月24日	1966-1		青木繁 天才画家をしのぶ 久留米で27日に“けしけし祭り”
186	毎日	1966年03月24日	1966-1		けしけし祭り 27日・青木画伯しのんで
187	フクニチ	1966年03月26日	1966-1		青木繁しのぶ“けしけし祭” あす久留米で
188	朝日	1966年03月28日	1966-1		記念碑前でカッポ酒 青木繁しのぶけしけし祭 久留米
189	毎日	1966年03月28日	1966-1		〈雑記帳〉 久留米市の生んだ天才画家、青木繁をしのぶ第十三回けしけし祭りが二十七日、…
190	毎日	1966年03月30日	1966-4		石橋美術館コレクションから 自画像
191	西日本	1966年04月21日	1966-2	野田宇太郎	西日本文学散歩 (71) 筑後路 (四) 画家の墓
192	朝日	1966年05月23日	1966-2	中川一政	折り折りの人 (6) 小杉放庵 (上) 青木繁とにらみ合う 歌集も出した画家歌人
193	毎日	1966年06月08日	1966-3		ライオンズ・チャリティー美術展
194	西日本	1966年06月09日	1966-3		ずらり!傑作40点 あすからチャリティー美術展
195	毎日	1966年06月11日	1966-3		施設の子らに資金を 久留米、ライオンズ・チャリティー美術展開く
196	西日本	1966年06月13日	1966-3	山上高寛	チャリティー美術展を見て 郷土作家ずらり 物語るコレクターの目
197	朝日	1966年07月22日	1966-3	源	名画の中の女性 (24) 福田たね 青木繁作「海の幸」
198	西日本	1966年10月03日	1966-1		天才画家の生涯 九州の百年 『青木繁』 NHKテレビ=前7・20 〈番組案内〉

199	読売	1966年10月06日	1966-2		福岡百年 (97) 明治賛歌 ヤリ突きつけた父 初志まげぬ少年・青木繁
200	朝日	1966年12月11日	1966-1		青木繁未亡人も出品 有薫会の“粹人迷作懐古展”
201	読売	1966年12月11日	1966-1		画家や詩人の色紙がずらり 有薫会回顧展
202	西日本	1967年02月13日	1967-2		絵に生きた80年 ー福田たね子さんを訪れるー
203	西日本	1967年03月12日	1967-2		〈庭〉 大川市長, 大川鐘ヶ江 中村太次郎さん 粋をこらす 青木繁にもゆかり
204	朝日	1967年03月16日	1967-1		青木繁の歌に振りつけ 踊りを披露 けしけしまつりに奉納
205	毎日	1967年03月16日	1967-1		青木繁の歌を踊りに 久留米 中央公民館で披露
206	読売	1967年03月16日	1967-1		“ケシケシの踊り”できる 青木繁の歌に 久留米
207	西日本	1967年03月17日	1967-1		新しく献舞も 21日にけしけし祭り
208	読売	1967年03月19日	1967-1		望郷の歌 山に流れ 青木繁しのびけしけし祭り
209	朝日	1967年03月20日	1967-1		けしけし祭 (行事案内)
210	朝日	1967年03月22日	1967-1		蘭童氏も出席 青木繁の「けしけしまつり」
211	西日本	1967年03月22日	1967-1		故人しので 21日に“けしけし祭り”
212	西日本	1967年03月22日	1967-1		けしけし山の碑の前で 青木繁をしのぶ祭り
213	フクニチ	1967年03月22日	1967-1		〈街灯〉 青木繁をしのぶ
214	毎日	1967年03月22日	1967-1		〈雑記帳〉 久留米市が生んだ, 明治画壇の天才画家, 青木繁をしのぶ“第十四回けしけし祭り”は…
215	西日本	1967年03月28日	1967-1		久留米市内に青木繁の像 篠山神社の境内 豊田氏が制作 来年春までに完成
216	西日本	1967年04月01日	1967-4		国宝・重文の新指定決まる 青木繁の『海の幸』など
217	フクニチ	1967年04月01日	1967-4		青木繁の「海の幸」など 国宝, 重文の新指定きまる
218	読売	1967年04月01日	1967-4		国宝・重文新たに93件 青木繁の「海の幸」など 初めて明治以降の洋画
219	毎日	1967年04月02日	1967-4		重要文化財に指定された青木繁の「海の幸」 幻想が生んだ名作 坂本繁二郎画伯の話を素材に 23才の時, 千葉で
220	毎日	1967年04月16日	1967-2	石橋正二郎 (談)	対談閑話 美神と事業 (2) 青木繁と坂本繁二郎
221	読売	1967年04月21日	1967-3	高階秀爾	選定もつと大胆に 油絵の重文指定
222	西日本	1967年04月29日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (7) 青木繁 ライバル上京す 家族の反対を押し切り
223	西日本	1967年05月04日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (9) 上京 青木の上達にショック 闘志を鋭く刺激
224	西日本	1967年05月14日	1967-1		明治百年洋画展 〈社告〉
225	西日本	1967年05月18日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (12) 無銭旅行 感激, 藤村らと会う 青木らとの信州旅行
226	フクニチ	1967年05月18日	1967-2		青木繁 若き日の写真みつかる 親友(明善時代)の手もとに 胸像づくりに貴重な資料
227		1967年	1967-1		篠山城跡に建立 久留米市 青木繁記念碑の趣意 書配る
228	毎日	1967年05月18日	1967-1		篠山城跡に青木繁の銅像 建立計画が具体化

229	読売	1967年05月18日	1967-1		篠山城跡 青木繁の記念碑 豊田教授に制作依頼 来年三月の命日に除幕
230	西日本	1967年05月20日	1967-1		郷土の話題 『繁と繁二郎』TNC=後5・0 〈番組案内〉
231	西日本	1967年05月23日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (13) 福田たね 青木のロマンス 下宿でどんちゃん騒ぎ
232	西日本	1967年06月09日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (15) 海の幸 青木, 一気に描く だが実感と違う虚構の傑作
233	西日本	1967年06月12日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (16) 夏の終わり 青木に猛然抗議 出品作に手を加えられ
234	西日本	1967年06月15日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (17) 親友 “五十年先を見よ” 競い, 助け合った青木
235	西日本	1967年06月20日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (18) 台頭 初の文展に入選 青木は画壇から姿消す
236	フクニチ	1967年06月21日	1967-1		色の特徴ははっきり 佐賀で青木繁の絵発見
237	西日本	1967年06月29日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (21) 馬鉄通り 明暗, 対照の別れ ばったり青木と出会う
238	フクニチ	1967年07月14日	1967-1		姿を消した“緒方美術館” 久留米 名画や彫刻を公開 無料で7年間 惜しむ各地のファン
239	フクニチ	1967年07月22日	1967-1		青木繁画伯記念碑の募金呼びかけ
240	西日本	1967年07月28日	1967-2		〈風車〉『白秋賞』と『青木賞』
241	毎日	1967年07月28日	1967-2	坂本繁二郎 (談)	対談閑話 絵を描くころ (3) わが友・青木繁
242	西日本	1967年08月20日	1967-1		青木繁記念碑建立に協力を 発起人会で呼びかけへ
243	毎日	1967年08月23日	1967-1		青木繁記念碑建立へ 久留米 全市民の協力呼びかけ
244	毎日	1967年09月01日	1967-1		久留米が誇る洋画壇の鬼才・青木繁 記念碑建立が具体化
245	フクニチ	1967年11月03日	1967-2		九州文化活動の登竜門に 絵画 青木賞 文学 白秋賞
246	読売	1967年11月05日	1967-1		白秋賞, 青木賞 明治百年に設置の動き
247	西日本	1967年11月09日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (51) けしけし山 久我と力合わせる 青木繁の記念碑建立
248	毎日	1967年12月09日	1967-1		新春早々に着工 青木繁記念碑 設計図完成, 募金順調
249	西日本	1967年12月10日	1967-1		デザイン決まる 久留米市 篠山城跡に青木繁記念碑
250	読売	1967年12月12日	1967-1		来春には完成 故青木画伯の碑
251	西日本	1968年01月01日	1968-3	矢山勲	〈提言〉『青木賞』『白秋賞』に思う
252	朝日	1968年02月28日	1968-3	土方定一	〈文化〉外面描写から内面化へ —「明治美術展」を見て—
253	読売	1968年03月17日	1968-1		31日, 盛大に「ケシケシ祭り」 久留米 故青木繁画伯の偉業しのぶ 福田蘭童氏も尺八奉納
254	西日本	1968年03月25日	1968-1		「青木繁賞」設定計画進む 地元文化団体が主唱 恒例のケシケシ祭り間近
255	朝日	1968年04月01日	1968-1		カッポ酒をくみかわす 久留米 青木繁をしのぶ祭

256	毎日	1968年04月01日	1968-1		〈雑記帳〉 久留米市の生んだ明治画壇の鬼才、青木繁画伯をしのぶ第十五回“けしけし祭り”が、…
257	読売	1968年04月01日	1968-1		青木画伯をしのぶ かぶと山で「けしけし祭り」 久留米
258	西日本	1968年04月29日	1968-2	福田蘭童	『けしけし山』を愛す 父・青木繁を憶う
259	読売	1968年05月09日	1968-1		青木繁画伯の記念碑 久留米・篠山城跡に7月完成
260	西日本	1968年05月18日	1968-1		“碑文”の原稿届く 青木繁記念碑建設進む
261	毎日	1968年05月18日	1968-1		計画すべて順調に 青木繁をたたえる記念碑 久留米市 建設資金も集まる けしけし山望む篠山城跡に 7月13日に除幕式
262	読売	1968年05月18日	1968-1		青木画伯 記念碑準備進む 望郷詩 福田蘭童筆 顕彰文 河北倫明作
263	フクニチ	1968年05月23日	1968-1		碑文もできる 青木繁の記念碑 誕生日に除幕式
264	西日本	1968年06月03日	1968-3	岸田勉	脈打つ伝統への自負 明善校出身の美術家たち
265	西日本	1968年06月06日	1968-1		広がる生家保存運動 画壇の2巨匠(故青木繁 坂本繁二郎)も 当時の面影そのままに
266	西日本	1968年06月09日	1968-1		高まる保存への動き 青木繁、坂本繁二郎氏生家 久留米・関係者の声を聞く 維持保存に努力
267	西日本	1968年06月13日	1968-1		青木繁の記念碑 篠山城で地鎮祭 レリーフなども完成
268	西日本	1968年06月15日	1968-1		青木繁、坂本繁二郎両生家 保存検討会を設置 久留米連文会総会
269	読売	1968年06月24日	1968-1		〈みなど〉 明治画壇の鬼才、青木繁画伯の記念碑の建立が、…
270	西日本	1968年07月02日	1968-2	樋口謙太郎	ひとりごと (3) 青木繁の描いた肖像画
271	読売	1968年07月02日	1968-1		青木繁など115点 八幡で九州異色画家展
272	西日本	1968年07月10日	1968-3		九州の異色画家展 〈告示〉
273	読売	1968年07月10日	1968-3		青木繁らの113点出品 「九州の異色画家展」
274	西日本	1968年07月11日	1968-1	保坂英雄	〈談話室〉 青木繁の記念碑
275	朝日	1968年07月12日	1968-3		〈美術〉 多彩にしておお新鮮 アウトサイダーの八人 「九州の異色画家展」
276	読売	1968年07月12日	1968-1		ブロンズ像できる 青木繁記念碑
277	毎日	1968年07月15日	1968-3		〈画廊〉 収穫は瑛九、荒井龍男の作品 九州の異色画家展
278	朝日	1968年07月22日	1968-1		青木画伯の記念碑できる 篠山城跡に
279	西日本	1968年07月22日	1968-1		青木繁の碑完成 悲運の画聖たたえ
280	西日本	1968年07月22日	1968-3		〈美術〉 印象的な横手、野田 九州の異色画家展
281	毎日	1968年07月22日	1968-1		青木繁記念碑 久留米で除幕式
282	読売	1968年07月22日	1968-1		蘭童さん父子が除幕 久留米城跡に青木繁記念碑
283	毎日	1968年08月06日	1968-3	戸嶋和郎	〈福岡評論〉 青木記念碑をたたえる
284	西日本	1968年08月23日	1968-1		青木繁の“再起の手紙”を発見 八女市の旧家で 帰京の望み切々と 悲運の底で飛躍の夢
285	毎日	1968年09月15日	1968-1		青木繁の画業をしのび 油絵“海の幸”を織物に再現 約千万円で“どん帳” 久留米市民会館 来春、ステージを飾る

286	西日本	1968年09月25日	1968-2		洋画の百年 三彩増刊号 〈書評〉
287	毎日	1968年09月27日	1968-1		薄幸の生涯を物語る異色展に 初公開の45点 来月2日から 青木繁をしのぶ特別展
288	西日本	1968年10月02日	1968-1		青木繁をしのぶ特別展 きょうから有馬記念館で
289	フクニチ	1968年10月02日	1968-3		東京芸大資料館 汚損ひどい作品群 自画像など一部修復へ
290		1968年10月03日	1968-3		〈寺〉 順光寺 久留米市日吉町 青木繁の墓がある
291		1968年	1968-1		2日から青木繁記念展 久留米 板戸画「房州風景」など
292	毎日	1968年10月03日	1968-1		苦闘時代の作品など 青木繁をしのぶ特別展が開幕
293	毎日	1968年10月08日	1968-1	戸嶋和郎	〈福岡評論〉 天才・青木繁の回顧展
294	朝日	1968年10月19日	1968-1		〈点描〉 青木繁の生涯しのぶ 久留米で特別展
295	西日本	1968年10月24日	1968-1		“青木繁少年”をしのぶ 数学、大きらい 同級生(中学時代)が写真発見
296	西日本	1968年10月29日	1968-1		〈文化〉 九州・沖縄芸術祭 きょう開幕 九州の画家たち展 開いた日本の洋画史 “隠れたる”名作68点
297	西日本	1968年10月29日	1968-3		名作に見入るファン 九州・沖縄芸術祭開幕 『九州の画家たち展』
298	フクニチ	1968年10月29日	1968-1		デッサンや手紙も出品 久留米で 青木繁の特別展
299	西日本	1968年10月31日	1968-1		栄光の群像 近代日本の洋画史をひらいた九州の画家たち展から (3) 和田英作 青木繁
300	読売	1968年10月31日	1968-3		青木繁らの名作 九州の画家たち展
301	朝日	1968年11月02日	1968-3	弘	近代洋画と九州人 栄光の座から不振へ
302	西日本	1968年11月14日	1968-1		青木繁展のパンフレットできる
303	読売	1968年11月14日	1968-1		青木繁をしのぶ特別展 作品写真集でる
304	朝日	1968年11月16日	1968-1		〈筑後バイパス〉 お知らせ 青木繁の資料できる
305	西日本	1968年11月18日	1968-3	岸田勉	青木繁の『心中と結婚』への意志 その資料展から
306	茨城毎日	1969年01月07日	1971-1		下館に青木繁の碑 三月末に除幕式 近く市長らが発起人会
307	読売	1969年01月22日	1968-3		〈美術評〉 風格ある作品群 日本の近代洋画
308	毎日	1969年01月29日	1969-1		〈文芸〉 絶頂期の地に碑 青木繁 下館市で建立準備
309	毎日	1969年03月13日	1969-1		23日かぶと山で 青木繁しのぶ第16回けしけし祭
310	朝日	1969年03月16日	1969-1		新しく国宝1, 重文51 「玄奘三蔵絵」国宝 重文 青木繁の作品など
311	読売	1969年03月16日	1969-1		文化財保護審議会 国宝に「玄奘三蔵絵」 初めて外人の彫刻も 重文51件を指定
312	朝日	1969年03月19日	1969-1		〈黒板〉 けしけし祭 〈行事案内〉
313	西日本	1969年03月20日	1969-1		天才, 青木繁しのぶ 23日に“けしけし祭り”
314	読売	1969年03月20日	1969-1		23日・ケンケン祭り 青木繁しのぶ 福田蘭童も参列
315	フクニチ	1969年03月22日	1969-1		青木繁しのんで 久留米 あす「けしけし祭り」
316	読売	1969年03月22日	1969-1		〈みなと〉 ちかく完成する久留米市の市民会館大ホールに, …

317	朝日	1969年03月23日	1969-1		市民会館が近く完成 久留米 お城のような建物 落成式は31日 文化活動の中心に
318	西日本	1969年03月23日	1969-1		最後の仕上げ急ピッチ 久留米市民会館 どんちょう は“海の幸” 31日に落成式 講演など多彩な行事
319	朝日	1969年03月24日	1969-1		カッポ酒で青木繁しのぶ “けしけし祭”
320	西日本	1969年03月24日	1969-1		画聖しのび“けしけし祭り” 青木繁のめい福祈る 柳 坂子供会員も参加
321	フクニチ	1969年03月24日	1969-1		青木繁の「海の幸」 久留米 市民会館飾るドン帳
322	毎日	1969年03月24日	1969-1		かつぼ酒で故人しのぶ 第16回けしけし祭り
323	読売	1969年03月24日	1969-1		注ぐ“かつぼ酒” 文人つどい「けしけし祭り」
324	西日本	1969年04月01日	1969-1		久留米と人 財界中心に 異色の人材輩出 “画壇 の鬼才”青木, 坂本
325		1969年	1969-4		〈すとろぼ〉 同人誌「文学佐賀」の本元光夫が、同誌 の8号に二百五十枚の大作「青木繁の放浪」を書いて いる。… 〈書評〉
326	毎日	1969年07月08日	1969-1		五ヶ月ぶりに帰る 故青木画伯の名作 重文指定後、 初めて
327	西日本	1969年08月11日	1969-3		青木繁画伯の絶筆ミステリー 消えた“青い太陽” 裏張り技法にナゾ ニセ物論まで飛び出す
328	西日本	1969年10月18日	1969-1		人気呼ぶ明善出身画家展
329	読売	1969年10月18日	1969-1		鬼才・青木繁など展示 明善高出身者の作品展開く
330	西日本	1969年11月08日	1969-2		明善物語 (14) アレキサンダー 芸術こそが我が 世界 落第した青木繁 神話に若い情熱
331	読売	1969年11月18日	1969-1		100人の名作を集めた絵画展
332	西日本	1969年11月22日	1969-2	河北倫明	東行西行 (24) 青木繁の友人
333	西日本	1969年11月26日	1969-2	河北倫明	東行西行 (27) 青木繁のファン
334	西日本	1969年12月11日	1969-2		明善物語 (40) 美の系譜 青木繁らぞくぞく 出 身画家 めざましい活躍
335	朝日	1970年03月02日	1970-2		〈読書〉 日本絵画館 9 「明治」 〈書評〉
336	フクニチ	1970年03月16日	1970-1		青木繁しのぶ“けしけし祭り” 29日に「かぶと山」で
337	毎日	1970年03月25日	1970-1	米替誓志	〈文芸〉 けしけし山
338	西日本	1970年03月28日	1970-1		あす久留米市でけしけし祭
339	読売	1970年03月28日	1970-1		あす「ケンケン祭り」 蘭童氏も尺八の奉納
340	西日本	1970年03月30日	1970-1		青木繁をしのんで 「けしけし祭」150人が集る
341	朝日	1970年05月13日	1970-2		〈美術〉 輝かしい洋画畑の人脈 九州出身近代作家 秀作展
342		1970年	1970-1		姿を消す青木繁ゆかりの庭園 都市計画道路づくり で 久留米
343	毎日	1970年07月02日	1970-2	戸嶋記者	生きている画像 坂本繁二郎一周忌を前に (3) 坂本と青木 名作に二つの世界 求道の人(坂本) 放浪の人(青木)
344	毎日	1970年07月13日	1970-2		本元光夫著「幻想の画家・青木繁」 〈書評〉
345	西日本	1970年09月14日	1970-2		〈本と人〉 呪われた美 中本達也 “創造”を鋭く追 求 既成美術史に容赦ない批判

346	フクニチ	1970年08月09日	1970-2		幻想の画家 青木繁 木元光夫著 造形社 〈広告〉
347	読売	1970年10月27日	1970-2		近代の美術 青木繁と浪漫主義 〈広告〉
348	毎日	1970年11月04日	1970-2		色と形をたずねて (1) 石橋美術館 福岡県久留米市 “静と動”両極の美の世界 青木・坂本の作品
349	西日本	1970年11月25日	1970-1		〈ミニ・ニュース〉 好評の名画カレンダー
350	毎日	1970年11月25日	1970-1		〈話題〉 カレンダーになった 青木繁の「二人の少女」
351	西日本	1971年02月05日	1971-1		もつてのほか 偽作扱い 再評価される不遇の画家 松田諦晶 数々の傑作残す 門下生千人 筑後画壇の指導者
352	西日本	1971年02月09日	1971-3		根づく (2) 筑後の美術 〈種子〉 すそ野築いた人たち 坂本の恩師森三美ら
353	西日本	1971年02月15日	1971-3		根づく (5) 筑後の美術 〈もう一つの柱〉 効果大きい美術館 レベル向上・土壌広がる
354	西日本	1971年03月05日	1971-1		呼び起こす“心の友” 青木繁画伯 詩人、高島宇朗 思い出の手紙届く 久留米の田中さんへ “女星”の斐都子さんから
355	朝日	1971年03月17日	1971-1		けしけし祭り 〈行事案内〉
356	読売	1971年03月19日	1971-1		28日、ケンケン祭り 献句で青木画伯しのぶ
357	読売	1971年03月20日	1971-3	高階秀爾	世紀末の影 (下) 神の支配から離脱 反発した象徴主義
358	西日本	1971年03月26日	1971-1	田中幸夫	青木繁“けしけし祭”を前に 現存のモデルに聞く 悲運の天才画家 縄帯をして恩師の家に 肉体をむしばんだ佐賀放浪
359	西日本	1971年03月28日	1971-1		晩年の青木繁をうたう 高島宇朗作の詩二編見つかる
360	朝日	1971年03月29日	1971-1		青木繁画伯しのび「けしけし祭」
361	西日本	1971年03月29日	1971-1		“陽春”本番へ 行楽地にぎわう 兜山では“けしけし祭り”
362	フクニチ	1971年03月29日	1971-1		〈街灯〉 カッポ酒をくんで
363	毎日	1971年03月29日	1971-1		青木繁しので“けしけし祭” “かっぱ酒”くみかわして 久留米
364	読売	1971年03月29日	1971-1		明治の鬼才にかっぱ酒 久留米で「けしけし祭り」故青木繁画伯をしのぶ
365	朝日	1971年03月31日	1971-4		近代の美術 第1号 河北倫明編 青木繁と浪漫主義 〈広告〉
366	西日本	1971年04月12日	1971-4	難波田龍起	生前の『青木繁』ほうふつと 「海の幸」渡辺喜美子著 〈書評〉
367	毎日	1971年04月15日	1971-4	鷹	明治の恋
368	西日本	1971年06月01日	1971-4		超ワイド版 現代日本美術全集 集英社版 全12巻 7巻 青木繁 〈広告〉
369	読売	1971年06月21日	1971-1		青木繁の作品みつかる 寄宿の主婦を描く 筑紫野で旅行の途中
370	フクニチ	1971年09月02日	1971-2		佐賀県 博物館の記念行事 …11月15日から28日まで明治、大正、昭和名作美術展、… 〈告示〉

371	西日本	1971年10月19日	1971-4		筑後路に深まる“美術の秋” 平常展にも団体客 石橋美術館 地元著名作品に人気
372	西日本	1971年10月23日	1971-1		下館市に青木繁の歌碑 没後60年を記念して 来月3日に除幕式 地元有志が募金建立
373	朝日	1971年11月03日	1971-4	古賀耕児, 青沼茂男, 岸田勉, 藤田英一(談)	筑後の美術を語る 「青木, 坂本に続けー」 実力派どしどし登場
374	毎日	1971年11月03日	1971-1		下館(茨城県)に青木画伯の碑 明治38—40年のゆかりの地
375	朝日 (茨城版)	1971年11月04日	1971-1		南限 北限 文化の日 愛した自然石に刻む 青木繁記念碑を除幕
376	茨城読売	1971年11月04日	1971-1		〈三角州〉 明治洋画壇の鬼才, 青木繁画伯の記念碑が, …
377	西日本	1971年11月04日	1971-1		ゆかりの下館市に 青木画伯の記念碑除幕
378	フクニチ	1971年11月18日	1971-3		佐賀県 明治, 大正, 昭和名作美術展 〈告示〉
379	フクニチ	1971年12月08日	1971-2		〈文化短信〉 現代洋画名作展 〈告示〉
380	西日本	1971年12月15日	1971-2		青木繁の未発表作品 珍しい肖像画みつかると 秘めた青春の慕情 佐賀 晩年を知る貴重な資料
381	西日本	1971年12月18日	1971-2		いまなお魅惑する筑後のニジ 死後60年の青木繁 まだ不明の主要作 『秋声』『二少女』にせ物も現われる
382	朝日	1972年03月07日	1972-2		〈ひろば〉《けしけし祭》 〈告示〉
383	毎日	1972年03月08日	1972-1		青木繁画伯しのぶ けしけし祭り 20日にかぶと山, 篠山城跡で
384	読売	1972年03月08日	1972-1		〈ミニ・ニュース〉 けしけし祭りにどうぞ 〈行事案内〉
385	西日本	1972年03月18日	1972-1	谷口治達記者	〈レジャー〉 青木繁しのぶ小城路 悲恋の舞台, 城下町 絶作『朝日』も大事に保管
386	西日本	1972年03月18日	1972-1	河北倫明	伝説の画家 青木繁 けしけし祭りに寄せて
387	西日本	1972年03月18日	1972-1		〈わが町村〉 久留米市 “けしけし祭り”
388	毎日	1972年03月22日	1972-1		故青木繁画伯しのび“けしけし祭り”
389	読売	1972年03月22日	1972-1		雨の「けしけし祭り」
390	西日本	1972年03月26日	1972-1		20日 けしけし祭り 〈行事案内〉
391	読売	1972年03月27日	1972-3		ユニークな視点と卓見 高階秀爾著 日本近代美術史論 〈書評〉
392	朝日	1972年03月31日	1972-1		生誕九十年記念に青木繁の回顧展
393	西日本	1972年04月18日	1972-2		〈画廊〉 東京ブリヂストン美術館新収作品展
394	朝日	1972年05月06日	1972-1	山上隆之輔	〈このごろ〉 展覧会屋の宿命
395	朝日	1972年05月30日	1972-3		〈展覧会〉 青木繁展 〈告示〉
396	西日本	1972年06月05日	1972-2		11日 青木繁展 〈告示〉
397	朝日	1972年06月06日	1972-2		〈ひろば〉 青木繁記念講演会 〈告示〉
398	朝日	1972年07月10日	1972-3		〈展覧会〉 青木繁展 〈告示〉
399	毎日	1972年09月22日	1972-2		美術の秋のハイライト 東京国立近代美術館 20周年記念展
400	朝日	1972年09月26日	1972-3		日本洋画の人脈 田中稷 型破りの美術史 〈広告〉

401	西日本	1972年10月16日	1972-3		『日本洋画の人脈』 田中穰著 〈書評〉
402	朝日	1972年10月20日	1972-3		生誕90年記念 豪華限定図録 青木繁 河北倫明著 日本経済新聞社 〈広告〉
403	西日本	1973年01月23日	1973-1		〈文化短信〉 東亜画廊が開業
404	西日本	1973年02月05日	1973-5		青木繁 その愛と彷徨 北川晃二 〈広告〉
405	フクニチ	1973年02月14日	1973-5	O	〈文化〉 複雑な人間像に迫る “天才”の高揚と失意 描く「青木繁・その愛と彷徨」 北川晃二著 〈書評〉
406	朝日	1973年02月17日	1973-5		北川晃二著「青木繁その愛と彷徨」 〈書評〉
407	フクニチ	1973年02月17日	1973-5		青木繁その愛と彷徨 北川晃二 講談社 〈広告〉
408	西日本	1973年02月19日	1973-5	田中艸太郎	温かい作者の『仮説』 北川晃二著 青木繁・その愛と彷徨
409	朝日	1973年02月28日	1973-2		〈会と催し〉 北川晃二著「青木繁・その愛と彷徨」出版記念会 〈行事案内〉
410	フクニチ	1973年03月04日	1973-1		盛大に出版記念会 北川晃二氏の「青木繁その愛と彷徨」
411	毎日	1973年03月12日	1973-5		青木繁—その愛と彷徨 北川晃二著 異才の実証的伝記 明治洋画壇の内情を背景に 〈書評〉
412	毎日	1973年03月13日	1973-4	篠原正一	〈文芸〉 高島宇朗と青木繁
413	フクニチ	1973年03月17日	1973-1		〈タウンメモ〉 けしけし祭り 〈行事案内〉
414	西日本	1973年03月19日	1973-1		21日 けしけし祭 〈行事案内〉
415	西日本	1973年03月19日	1973-5		現代日本美術全集 集英社版 全18巻 ヴァンタン 第9回配本《第7巻》好評発売中 青木繁／藤島武二 〈広告〉
416	読売	1973年03月20日	1973-1		けしけし祭り 〈行事案内〉
417	毎日	1973年03月21日	1973-1		きょう第20回けしけし祭り
418	西日本	1973年03月23日	1973-1		青木画伯しのび『けしけし祭』
419	フクニチ	1973年03月24日	1973-4	藤田英一, 山上隆之輔, 北川晃二 (談)	美術ブームあれこれ 青木繁の61回忌から美術館建設と投機買いまで 「天才」育てた筑後の風土 明治維新 乗り遅れたのが幸い
420	西日本	1973年03月30日	1973-1		〈文化短信〉 久留米に九州画廊がオープン
421	西日本	1973年04月05日	1973-1		久留米に本格的な画廊
422	フクニチ	1973年04月06日	1973-1		“九州画廊”オープン
423	毎日	1973年04月06日	1973-1		筑後美術の伝統守ろう 九州画廊, オープン オール九州作家展開幕 久留米市
424	西日本	1973年04月28日	1973-3		若き坂本繁二郎 23歳の手紙福岡で発見 東京の空の下 母想う 悩みながら絵に精進 伯父あて 青木繁との対抗意識も
425	西日本	1973年05月11日	1973-1		栄光をたたえて TNC制作 15周年記念番組 郷土出身の天才画家 『青木繁—その画業と伝説』
426	西日本	1973年06月09日	1973-1		フィルム構成 青木繁 —その画業と伝説— (番組紹介)
427	西日本	1973年06月13日	1973-2	朝日晃	百年の美の系譜 近代洋画を築いた五十人展から (3) ロマン主義の開花 青木繁『大穴牟知命』(1905年)

428		1973年	1973-2		近代洋画を築いた50人展
429	西日本	1973年06月20日	1973-2		きょう開幕 近代洋画を築いた五十人展 美術史の勉強に
430	西日本	1973年06月20日	1973-2		美術の流れまざまざ 『近代洋画を築いた50人展』開く
431	西日本	1973年06月21日	1973-2		中ソ文化人“日本のこころ”見る “青木繁スバラシイ”ソ連美術史家アーラさん 『50人展』を鑑賞
432	フクニチ	1973年06月23日	1973-2		近代洋画の50人展 巨匠が描く明治100年 県立文化会館 具象から抽象まで
433	毎日	1973年06月26日	1973-3		好評開催中、来月1日まで 全国美術館秘蔵作品を中心に 近代洋画を築いた50人展 〈社告〉
434	西日本	1973年06月28日	1973-4	青木寿	〈文化〉 『五十人展』を見て 赤裸々な個性 美術史を彩る九州の魂
435	朝日	1973年07月24日	1973-1		〈点描〉 第一回は青木繁の“世界” 知られざる物故者の作品を無料公開
436	読売	1973年08月23日	1973-2		石橋コレクション展 〈告示〉
437	朝日	1973年10月05日	1973-4		〈点描〉 “パリと日本”の関係見つめる展観
438	毎日	1973年10月29日	1973-2		「近代日本美術史におけるパリと日本」展
439	フクニチ	1973年11月14日	1973-5	N	内面つぶさに初の伝記 坂本繁二郎 岩田礼著 〈書評〉
440	毎日	1973年11月26日	1973-5		〈寸評〉 坂本繁二郎 岩田礼著 〈書評〉
441	西日本	1974年02月20日	1974-1		どん帳で再現 大川市文化センター 清力美術館が寄贈 青木繁の名作『晩帰』
442	朝日	1974年02月25日	1974-3		〈点描〉 上野の森85年の歩み展
443	読売	1974年02月26日	1974-3		〈手帳〉 「上野の森85年の歩み展」東京芸大 ずらり近代美術史 印象・写実から幻想まで
444	毎日	1974年03月12日	1974-3		振幅の広い日本画 「上野の森85年の歩み展」
445	西日本	1974年03月18日	1974-4		近代の美術 21 『坂本繁二郎』 岸田勉 著 〈書評〉
446	西日本	1974年03月23日	1974-1		名品、珍品ずらり 久留米市の永田さん ビル新築を機にギャラリー開く
447	朝日	1974年03月25日	1974-1		「けしけし祭」
448	西日本	1974年03月25日	1974-1		盛大に“けしけし祭り” 久留米市かぶと山 歌碑に“カッポ酒” 青木繁をたたえ 市民ら200人が参加
449	フクニチ	1974年03月25日	1974-1		カッポ酒くみかわし“けしけし祭り” 野草を食べる会 野草料理に舌つづみ 久留米
450	読売	1974年03月25日	1974-1		かつぽ酒で青木画伯しのぶ 碑前で「けしけし祭り」
451	フクニチ	1974年03月30日	1974-4		青木繁など展示 〈告示〉
452	西日本	1974年04月02日	1974-4		〈展覧会〉 石橋コレクション展 〈告示〉
453	読売	1974年05月02日	1974-4		〈ロビー〉 青木繁をめぐる友人の書簡 福岡の雑誌で紹介 〈書評〉
454	朝日	1974年05月04日	1974-3		〈点描〉 青木繁をめぐる新資料を公開 福岡ユネスコ機関誌

455	毎日	1974年05月18日	1974-1		〈雑誌〉 注目される「博物館・美術館」の座談会 福岡・ユネスコ 第9号 〈書評〉
456	西日本	1974年06月18日	1974-1		“青木繁の間”を永久保存 清力美術館『晩帰』描いた部屋
457	朝日	1974年07月01日	1974-3		海の幸 (後1・45) 〈RKB…〉 〈番組紹介〉
458	西日本	1974年07月01日	1974-3		新番組『海の幸』 RKB… テレビ=後1・45 〈番組紹介〉
459	毎日	1974年07月01日	1974-3		新番組 海の幸 〈後1・45) 〈番組紹介〉
460	読売	1974年07月01日	1974-3		新番組 海の幸 後1・45 (RKB…) 〈番組紹介〉
461	朝日	1974年07月05日	1974-4		20日から青木と坂本特別展 石橋美術館 〈告示〉
462	西日本	1974年07月05日	1974-4		〈展覧会〉 青木繁・坂本繁二郎特別展示 〈告示〉
463	朝日	1974年07月18日	1974-1		〈展覧会〉 青木繁・坂本繁二郎特別展示 〈告示〉
464	毎日	1974年07月19日	1974-1		〈ふれえ・がいで〉 ギャラリー 筑後 青木繁・坂本繁二郎作品特別展示 〈告示〉
465	読売	1974年07月26日	1974-4		青木繁, 坂本繁二郎名作展 〈告示〉
466	フクニチ	1974年07月27日	1974-4		両巨匠の大作出品 石橋美術館 青木繁・坂本繁二郎展
467	朝日	1974年08月07日	1974-4		〈むつごろう通信〉 「天平時代」を展示
468	西日本	1974年08月07日	1974-1		水彩画の『須崎海岸』 青木繁の絶筆と認定 河北, 岸田の両氏 東中洲の病床で描く 陰に豪商の友情 構図, 色感に特徴
469	読売	1974年08月07日	1974-4		青木繁「天平時代」 文化センターに展示 〈告示〉
470	フクニチ	1974年08月08日	1974-4		久留米市 特別展観は「天平時代」 〈告示〉
471	朝日	1974年08月11日	1974-4		青木繁の絵解説 〈告示〉
472	西日本	1974年08月17日	1974-4		〈お知らせ〉 久留米 石橋美術館ゲストコーナー 〈告示〉
473	西日本	1974年08月19日	1974-3	岸田勉	青木繁と加野宗三郎 絶筆『須崎海岸』をめぐる入院中, 面倒をみる 関係確かめる資料はない
474	西日本	1974年08月30日	1974-3	次	〈風車〉 青木繁と“薫風郎君”
475	西日本	1974年09月08日	1974-4		〈超短波〉 久留米が生んだ天才画家・青木繁の生涯を描いたテレビドラマ『海の幸』(TBS制作, 毎週木曜RKB放映)が話題になり, …
476	西日本	1974年09月13日	1974-4		太陽 10月号 (平凡社) 特集 画家青木繁 愛と放浪の生涯 〈広告〉
477	朝日	1974年10月15日	1974-4		〈名画サロン〉 秋 青木繁(1882-1911)の作品。… 〈作品紹介〉
478	西日本	1974年11月08日	1974-1		青木の芸術への執念 福田蘭童氏が証言 10日, NHKが『燃えつきた絵筆』放送
479	朝日	1974年11月15日	1974-3		輝く洋画壇の巨匠 数々の賞を受けた坂本繁二郎 「海の幸」で世評高めた青木繁
480	西日本	1974年12月10日	1974-3		〈雑誌と同人誌〉 『九州人』12月号 …ほかに田中幸夫『詩人高島泉郷と青木繁』… 〈書評〉
481	西日本	1974年12月13日	1974-3		私は青木繁の最期の看護婦 背広着たきりの闘病 見舞客もほとんどなく 千葉に住む坂口マユミさん

482	朝日	1975年03月10日	1975-1		けしけし祭り 久留米が生んだ偉才、青木繁をしのぶ行事。…〈行事案内〉
483	西日本	1975年03月16日	1975-3	田中幸夫	〈文化〉 ロマンの詩人青木繁 “けしけし忌”に寄せて
484	西日本	1975年03月24日	1975-1		青木繁しのび“けしけし祭” 関係者150人が集まり耳納連山かぶと山で
485	西日本	1975年03月29日	1975-3	岸田勉	〈文化〉 青木繁のある足跡 従弟宅にあった水彩画から
486	読売	1975年03月29日	1975-3	岸田勉	青木繁の“絶筆”『須崎海岸』 幻想性と安定性間違いない
487	フクニチ	1975年04月22日	1975-3	治	〈鑑賞席〉 わだつみのいろこの宮 〈作品紹介〉
488	西日本	1975年05月23日	1975-5		郷土色強めます 石橋美術館 青木・坂本の作品を一堂に 名づけて『ふるさと美術館』
489	毎日	1975年05月23日	1975-5		青木繁 坂本繁二郎 2巨匠の作品集 石橋美術館“ふるさと”コーナー
490	朝日	1975年06月11日	1975-5		青木、坂本の作品一堂に 久留米の石橋美術館
491	朝日	1975年06月27日	1975-5	倉本和美記者	同窓会 明善高校 (1) 石橋美術館
492	朝日	1975年07月15日	1975-4		オールカラー愛読愛蔵版 日本の名画 全26巻 中央公論社 第12巻 青木繁 〈広告〉
493	朝日	1975年08月01日	1975-5	井川史朗	青木・坂本を生んだ郷土 近代洋画に不滅の光 大きな比重占める九州
494	朝日	1975年08月30日	1975-4		芸術新潮 9月号 新潮社 …異聞青木繁の絶筆をめぐって／竹藤寛 〈広告〉
495	読売	1975年09月02日	1975-3		青木繁の絶筆論争 岸田九州芸工大教授が唱える新説「須崎海岸」 闘病中、博多の豪商に贈る 福岡ユネスコ協会 竹藤氏は疑問視
496	西日本	1975年11月07日	1975-5		青木・坂本のふるさと美術館 内容を一段と充実 名作さらに33点追加 圧巻『わだつみのいろこの宮』青木、『放牧三馬』坂本
497	西日本	1975年12月01日	1975-1		青木繁晩年の作品か 『海の幸』の系列 民家の土蔵から発見 佐賀
498	フクニチ	1975年12月05日	1975-1		天才画家・青木繁の油絵発見 佐賀市の民家の土蔵から 幻想的ふん囲気漂う 裸の漁師を描く
499	西日本	1975年12月16日	1975-3	次	〈風車〉 古賀春江と青木繁
500	朝日	1976年02月02日	1976-1		天才画家青木繁その愛人福田たね 二人の「愛」の記念碑 栃木で計画 帰化彫刻家が制作
501	西日本	1976年02月18日	1976-4	岸田勉	〈文化〉 60余年ぶりの“目覚め” 青木繁の『織月帰舟図』について
502	フクニチ	1976年02月18日	1976-4	岸田勉 (他)	〈文化〉 青木繁の絶筆『須崎海岸』について 青木繁の新発見の作品と署名について
503	朝日	1976年03月19日	1976-1		あす、けしけし祭 青木画伯の業績しのび
504	西日本	1976年03月19日	1976-1		“カッポ酒”をくみかわし 青木繁の偉業しのぶ 久留米市カブト山 あす、けしけし祭
505	西日本	1976年03月21日	1976-1		カッポ酒くみかわす 青木繁しのぶ “けしけし祭り”
506	読売	1976年03月21日	1976-1		酒注ぎ、青木繁しのぶ 久留米でけしけし祭り

507	フクニチ	1976年03月22日	1976-1		“カッポ酒”でしのぶ 青木繁の「けしけし祭り」 久留米市
508	読売	1976年09月21日	1976-4		〈手帳〉 若き坂本繁二郎の悩み 学生時代「ライバル青木」すでに意識
509	西日本	1976年09月30日	1976-3		土方定一著作集 全12巻 平凡社 6 近代日本の画家論 I 〈広告〉
510	西日本	1976年11月07日	1976-2		あの世で父の元へ 蘭童さん青木繁の墓に納骨
511	朝日	1976年11月24日	1976-1		草葉のかけで結べた父子愛 寺に納骨 蘭童氏, 青木繁氏のそばに 久留米
512	西日本	1976年11月24日	1976-1		久留米の青木繁の墓に分骨 蘭童さん, 父のもとへ
513	毎日	1976年11月24日	1976-1		福田蘭童さんの分骨式 エータローさんから30人出席し 久留米順光寺
514	読売	1976年11月24日	1976-1		故蘭童さん, 父・青木繁と眠る
515	西日本	1977年01月06日	1977-1		青木繁・坂本繁二郎 生家に記念碑 文化人が建設計画 久留米
516	朝日	1977年03月25日	1977-1		けしけし祭りに孫の石橋さんも 27日に青木画伯しのぶ
517	西日本	1977年03月25日	1977-1		青木繁しので 27日碑前祭ひらく
518	朝日	1977年03月28日	1977-1		久留米市でけしけし祭 お好きなカッポ酒です 青木画伯しのび歌碑に
519	西日本	1977年03月28日	1977-1		しめやかに“けしけし祭り” 歌碑にカッポ酒 青木繁しのぶ150人 孫の石橋さんも出席 久留米市けしけし山
520	フクニチ	1977年03月28日	1977-1		百人参加し盛大に 春の山菜に舌つづみ 「けしけし祭り」「野草を食べる会」 久留米
521	毎日	1977年03月28日	1977-1		カッポ酒をくみ交わし けしけし祭り 青木繁しのぶ 久留米
522	読売	1977年03月28日	1977-1		青木繁しのびけしけし祭り
523	西日本	1977年04月17日	1977-2		西日本の群像 “美の極致”黒潮に咲く 黒田頂点に結集 青木, 坂本も独自の花
524	朝日	1977年05月18日	1977-1		青木繁のデッサン
525	読売	1977年08月05日	1977-1		〈手帳〉 青木繁作品めぐり遺族と友人が対立 「福岡ユネスコ」に発表
526	朝日	1977年10月15日	1977-3		〈点描〉 日本洋画巨匠展 ほとんどが具象画 地元出身画家を中心に
527	読売	1977年10月15日	1977-3		〈美術〉 日本洋画巨匠展 随所にえり抜きの作品
528	西日本	1977年10月26日	1977-3	二宮冬鳥	青木繁二題
529	朝日	1977年12月01日	1977-2		河北倫明美術論集 講談社版 全5巻 第3巻・青木繁と坂本繁二郎 〈広告〉
530	読売	1978年01月01日	1978-3		はばたく市民文化 “ふるさと美術館”充実 青木・坂本作品が一堂に
531	読売	1978年02月12日	1978-3		青木繁作品「海の幸」など里帰り 石橋美術館 18日から150点展示
532	朝日	1978年02月13日	1978-3		6年ぶり青木繁の『海の幸』特別展 18日から6カ月間 石橋美術館

533	西日本	1978年02月15日	1978-3		18日から常設展示 石橋コレクション 繁二郎の『霧島風景』も
534	読売	1978年02月16日	1978-3		「海の幸」など飾りつけ 石橋美術館, 18日から公開
535	読売	1978年02月20日	1978-3		青木繁“里帰り”名作2点 300人じっくり鑑賞 石橋美術館
536	西日本	1978年02月22日	1978-3		『海の幸』など名作ずらり 石橋美術館 常設展示にもどる
537	西日本	1978年02月24日	1978-3		〈文化〉 青木繁の『海の幸』 慎重に里帰り 石橋美術館で当分展示
538	西日本	1978年03月27日	1978-1		にぎわった春の一日 青木繁しのびけしけし祭り 久留米市山本町 山上の歌碑にカッポ酒かけ
539	フクニチ	1978年03月27日	1978-1		“春”漂う二つの行事 久留米市高良山 青木繁「けしけし祭り」 石橋エーターロー親子も参加 碑にカッポ酒など注ぐ
540	西日本	1978年04月11日	1978-3	早	〈風車〉 『海の幸』を常時久留米に
541	西日本	1978年07月14日	1978-3	岸田勉	〈文化〉 坂本繁二郎特別展について 青春の作や諸資料 青木繁と争った『早春』
542	フクニチ	1978年08月08日	1978-3		青木繁テーマに「炎の海」 NHK福岡で制作
543	朝日	1978年08月25日	1978-3		天才画家青木繁を紹介 「炎の海」に取り組むNHK福岡 主役も福岡出身の米倉
544	毎日	1978年08月26日	1978-3		青木繁“29歳の燃焼”を描く NHK福岡制作「炎の海」
545	読売	1978年08月26日	1978-3		〈娯楽〉 「炎の海」津屋崎でロケ 放浪画家の晩年描く 青木繁に米倉斉加年 NHK福岡
546	フクニチ	1978年08月27日	1978-3		NHK特集「炎の海」 宗像郡・恋の浦海岸ロケ “天才”に挑戦 米倉斉加年が青木繁に
547	西日本	1978年09月07日	1978-3		青木繁の波瀾の生涯 『炎の海』NHK福岡で制作
548	朝日	1978年11月17日	1978-1		郷土出身の画家テーマに 福岡で美術座談会
549	朝日	1978年11月22日	1978-2		美術と郷土のかかわりは? 福岡ユネスコ協会主催で座談会 青木・坂本…五画家を中心に
550	西日本	1978年11月22日	1978-2		〈文化〉 美術と風土を考える座談会 福岡出身画家をめぐって
551	読売	1978年11月22日	1978-2		〈手帳〉 作家とふるさと美術と風土探る 福岡でシンポジウム
552	読売	1978年12月26日	1978-3		日本の名画 カンヴァス版 全26巻 第12巻 青木繁 〈広告〉
553	読売	1979年01月05日	1979-3		青木・坂本に続け 偉業たたえ「画家展」 3月石橋美術館
554	読売	1979年01月05日	1979-3		巨匠里帰り静かな歓迎 再出発石橋美術館2年目 青木繁「天平時代」を展示
555	西日本	1979年01月10日	1979-3		〈文芸〉 石橋美術館に展示 青木繁の『天平時代』
556	フクニチ	1979年01月12日	1979-3		青木ファン喜ばせる「天平時代」の里帰り
557	フクニチ	1979年03月26日	1979-1		200人参加, 盛大にけしけし祭 歌碑にカッポ酒
558	毎日	1979年03月26日	1979-1		青木繁しのび「けしけし祭り」 久留米 カッポ酒くみ交わし

559	フクニチ	1979年04月15日	1979-3		郷土の画才育てた「清力美術館」ついに閉館 大川 困難な保存と防犯 坂本繁二郎青木繁ら 名画「石橋」に預託
560	毎日	1979年04月15日	1979-3		清力美術館“70歳”で引退 「漁夫晩婦」(青木作品) など4点 石橋コレクションに寄贈
561	毎日	1979年04月27日	1979-3		古賀春江の「曲ろくにつく」も 石橋美術館 あすから公開
562	西日本	1979年04月28日	1979-3		清力コレクション 石橋美術館で展示 青木繁の『漁夫晩婦』など
563	読売	1979年04月28日	1979-2		清力美術館が閉館 大川 無料開放 いたずらにダウン
564	フクニチ	1979年04月29日	1979-2		5代目当主ほろ苦い解放感 「清力美術館」閉館 大川 保管の苦労肩代わり 石橋美術館 民間保存のむずかしさ浮き彫り
565	フクニチ	1979年04月30日	1979-3		青木繁の作品「漁夫晩婦」など勢ぞろい
566	西日本	1979年05月11日	1979-3	岸田勉	〈文化〉美術館の収集と企画 清力コレクションの寄託によせて
567	西日本	1979年05月26日	1979-3		青木繁の絵が記念切手に 石橋美術館で記念展も 29日から全国で売り出す
568	フクニチ	1979年05月28日	1979-3		青木繁の傑作、近代美術シリーズで切手に登場
569	読売	1979年06月20日	1979-3		3日から石橋財団初の展示会 豊福知徳氏の彫刻も 石橋美術館 繁二郎「自像」など秀作19点
570	毎日	1979年06月22日	1979-3		セザンヌなど19点新登場 石橋美術館 岡鹿之助「雪の発電所」 坂本繁二郎「自像」も
571	フクニチ	1979年06月24日	1979-1		青木繁の絵画など余罪続々 窃盗男、百十件を自供
572	朝日	1979年07月01日	1979-3		絵画、彫刻など19点 3日から石橋コレクション新収蔵品展 坂本の「自像」など傑作も
573	西日本	1979年07月04日	1979-3		坂本繁二郎やセザンヌ 新収蔵の19点展示 久留米・石橋美術館
574	フクニチ	1979年07月04日	1979-3		新たに飾る世界の名画展 美術ファンは大喜び セザンヌの「入浴図」も
575	毎日	1979年07月04日	1979-3		逸品、新たに19点 新収蔵品展開く 石橋美術館
576	西日本	1979年07月12日	1979-3		ファン魅了する名作19点 坂本繁二郎の自像など 石橋コレクション新収蔵作品展から
577	朝日	1979年08月26日	1979-3		NHKブックス《カラー版》 青木繁 その愛と放浪 松永伍一著 〈広告〉
578	西日本	1979年08月27日	1979-3		NHKブックス〈カラー版〉 青木繁～その愛と放浪～ 松永伍一著 〈広告〉
579	西日本	1979年08月29日	1979-2	篠原正一	〈随想〉 青木繁の短歌
580	西日本	1979年09月22日	1979-2	権の実	〈風車〉 青木繁の評伝
581	西日本	1979年10月26日	1979-3		筑後は絵のふるさと 輩出した有名画人 在野精神にあふれて
582	毎日	1979年11月17日	1979-2		おめでとう関本君(久大付中3年) 総理大臣賞 全国文芸コンクール 坂本繁二郎・青木繁を描いた小説「二人の画家」

583	フクニチ	1979年12月02日	1979-2		〈サンデーストーリー〉 中学3年初の小説が総理大臣賞 お見事!小郡市の関本君 郷土の画家青木・坂本“二人の世界” 「海の幸」にひかれて
584	西日本	1980年01月23日	1980-5		郷土色もくっきりと 改装三年目の石橋美術館 充実した作品, 入場者も増える
585	毎日	1980年02月06日	1980-1	丸山豊	めぐりあい 丸山豊 (上) 坂本繁二郎翁
586	毎日	1980年02月07日	1980-1	丸山豊	めぐりあい 丸山豊 (下) 坂本繁二郎翁
587	フクニチ	1980年02月17日	1980-1		美術時評 今春注目の地元3企画展 都市化と風土性
588	西日本	1980年02月24日	1980-2		青木, 坂本ら未公開作中心 来月, 郷土出身画家の洋画展 県文化会館
589	フクニチ	1980年02月24日	1980-2		郷土の画家“総出演” 有名, 無名の64人, 93点 青木繁の「緋月帰舟」も初公開 「郷土の物故作家にみる風土と人脈」展 2日から福岡県文化会館
590	読売	1980年02月24日	1980-2		県ゆかりの画家の作品一堂に 「近代洋画と福岡県」 2日から県文化会館で
591	朝日	1980年02月29日	1980-2		近代洋画と福岡県 豊かな土壌探ろう 郷土の画家が一堂に 初公開の作品いっぱい 2日から福岡市・県文化会館
592	フクニチ	1980年03月06日	1980-2	深野治編集委員	ふるさと美術人脈 近代洋画と福岡県 (4) “画風”に生れた土の香り
593	朝日	1980年03月08日	1980-2	源	〈美術〉 地域に密着した好企画 福岡県文化会館特別展「近代洋画と福岡県」
594	読売	1980年03月08日	1980-2	健	〈美術〉 珍しい絵が勢ぞろい 「近代洋画と福岡県」展
595	フクニチ	1980年03月10日	1980-2		ふるさと美術人脈 近代洋画と福岡県 (6) 基礎かたまった明治40年代 若い才能もぞくぞく登場
596	読売	1980年03月12日	1980-3		新刊 樫の国の画家たち 〈書評〉
597	西日本	1980年03月13日	1980-2		〈展覧会〉 福岡県出身巨匠六人展
598	毎日	1980年03月13日	1980-1	田中幸人	風土と人脈の再評価 二つの企画展の意味
599	西日本	1980年03月14日	1980-1	古川智次	〈文化〉 三地域の人脈たどる 『近代洋画と福岡県』展
600	フクニチ	1980年03月14日	1980-2		〈展覧会〉 福岡県出身巨匠六人展
601	西日本	1980年03月17日	1980-3	岸田勉	〈読書〉 迫力ある克明な資料 樫の国の画家たち 松田諦晶物語 吉田浩著 〈書評〉
602	西日本	1980年03月22日	1980-5		あす『けしけし祭り』 久留米 〈行事案内〉
603	西日本	1980年03月23日	1980-5		〈お知らせ〉 久留米 けしけし祭 〈行事案内〉
604	朝日	1980年03月24日	1980-5		けしけし祭
605	西日本	1980年03月24日	1980-5		青木繁をしのぶ しめやかに『けしけし祭り』
606	フクニチ	1980年03月24日	1980-5		碑前にはカッポ酒 青木繁をしのぶ 200人参加, けしけし祭
607	毎日	1980年03月24日	1980-5		カッポ酒をくみ交わし 青木繁をしのぶ 久留米でけしけし祭り
608	読売	1980年03月24日	1980-5		青木繁しのぶ けしけし祭 兜山に300人集う

609	西日本	1980年03月26日	1980-5		画伯の偉業しのぶ
610	西日本	1980年04月19日	1980-5		青木繁“天才”への習作 素描など60点発見 故坂本繁二郎が所蔵 6月、石橋美術館で公開
611	西日本	1980年05月13日	1980-2	吉田	〈展覧会〉 筑後洋画山脈の祖 森三美素描展
612	読売	1980年05月16日	1980-2		〈展覧会案内〉 森三美素描展 〈告示〉
613	西日本	1980年05月21日	1980-5		〈文芸〉 能面のデッサンや素描画を公開 青木繁、20歳ごろの作 31日から石橋美術館
614	西日本	1980年05月24日	1980-5		青木繁のデッサン画 久留米 〈告示〉
615	読売	1980年05月26日	1980-5		未発表「青木繁の息吹き」 風景や能面デッサンなど 31日から石橋美術館で展示
616	朝日	1980年05月31日	1980-2		〈展覧会〉 特別展示「青木繁の息吹」 〈告示〉
617	フクニチ	1980年05月31日	1980-2		〈週間ガイド〉 美術 青木繁の息吹き 〈告示〉
618	毎日	1980年06月01日	1980-5		故青木画伯「わだつみのいるこの宮」 “幻の下絵”見つかると ライバル故坂本画伯宅で
619	西日本	1980年06月10日	1980-5	岸田勉	仮面の世界 青木繁未発表作品について
620	フクニチ	1980年06月10日	1980-5		坂本繁二郎の遺品から青木繁の作品60点が… 水彩やクロッキー代表作「わだつみのいるこの宮」の下絵も 石橋美術館で公開
621	毎日	1980年06月12日	1980-5		美術講座 …石橋美術館二階ロビー。岸田勉同館長が「青木繁未発表作と資料」展の展示作品解説を中心に。二百円。 〈告示〉
622	フクニチ	1980年06月14日	1980-2		〈週間ガイド〉 美術 青木繁の息吹き 〈告示〉
623	読売	1980年06月18日	1980-5		〈よみうり抄〉 石橋美術館土曜特別講座 〈告示〉
624	読売	1980年06月19日	1980-5		〈学ぶ〉 石橋美術館土曜特別美術講座 〈告示〉
625	西日本	1980年06月26日	1980-5		〈カメラスケッチ〉 ロマンへの限りなき情熱 仮面スケッチ中心に にぎわう石橋美術館 青木繁の未発表作品展
626	朝日	1980年08月18日	1980-1		青木繁の生家、保存へ 地元企業が調査着手 久留米 復元し、市へ寄付も
627	フクニチ	1980年08月21日	1980-3		小説「二人の画家」を出版 久大付設高1年の関本君 〈書評〉
628	毎日	1980年08月25日	1980-3		青木・坂本両画伯モデルに 小説「二人の画家」 久留米の高校生が出版
629	西日本	1980年09月04日	1980-1		〈家庭〉 名画にみる母と子 (21) 青木繁 羽子板《女星》
630	西日本	1980年10月03日	1980-3	桜木信之	青木と坂本比較 『二人の画家』関本善和著
631	西日本	1980年10月23日	1980-5		絵画貸し出し急増 石橋美術館 美術館新築ラッシュで 『同業の付き合いもあつて…』
632	朝日	1980年10月25日	1980-2		広い視野と問題意識 自主性確立する過程
633	読売	1980年10月31日	1980-1		青木繁の短歌を“改作” 県観光連盟パンフレット 久留米市が単純ミス重ねる
634	フクニチ	1980年12月29日	1980-1	深野治編集委員	〈管見抄〉 美術の解説と歴史